

(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

一 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(加藤 周一「文学とは何か」による。)

(注) フロベール II フランスの小説家。

問一 ①⑤の語について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを書きなさい。

問二 この文章中の(a)①(c)のいずれかの位置に、次に示す文章が段落として入ります。どこに入れるのが最も適切ですか。その記号を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問三 1 詩人の態度とありますが、これはどのような態度ですか。二十字以内で書きなさい。

問四 2 懐古と熟語の構成が同じものを、次のア①エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 純化 イ 写真 ウ 周囲 エ 無用

問五 3 裏切ることそのことによって文学として成立していませんとありますが、これはどういうことですか。筆者のとらえ方を踏まえ、百五十文字以内で書きなさい。

29 高等学校 国語科 問題用紙

(五枚のうち三)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の文章 A・B を読んで、問一～問三に答えなさい。

A
 漢 皇 重^レシテ 色ヲ 思^ヒ 傾 国^一ヲ
 楊 家ニ 有^レリ 女 初メテ 長 成シ
 天 生ノ 麗 質 難^ク 自ラ 棄^テ
 回^ラシテ 眸ヲ 一 笑スレバ 百 媚 生ジ
 春 寒クシテ 賜^フ 浴ヲ 華 清ノ 池
 侍 児 扶^ケ 起^コセバ 嬌トシテ 無^シ 力
 雲 鬢 花 顔 金 步 搖
 春 宵 苦^レシミ 短キニ 日 高クシテ 起キ
 承^ケ 歡^ヲ 侍^レシテ 宴ニ 無^ク 閒 暇^一
 後 宮ノ 佳 麗 三 千 人
 金 屋 粧 成リテ 嬌トシテ 侍^レシ 夜ニ
 姉 妹 弟 兄 皆 列^レネ 土ヲ
 遂^ニ 令^ム 天 下ノ 父 母ノ 心ヲシテ

B
 御 宇 多 年 求ムレドモ 不^レ 得
 養ハレテ 在^リ 深 閨^一ニ 人 未^レダ 識ヲ
 一 朝 選バレテ 在^リ 君 王ノ 側^一ニ
 六 宮ノ 粉 黛 無^シ 顔 色^一
 温 泉 水 滑ニシテ 洗^フ 凝 脂^一ヲ
 始メテ 是^レ 新ニ 承^ニクルノ 恩 沢^一ヲ 時
 芙蓉 帳 暖カニシテ 度^ニル 春 宵^一ヲ
 従^レリ 此^レ 君 王 不^ニ 早 朝^一セ
 春ハ 従^ニヒ 春 遊^一ニ 夜ハ 専^ラニス 夜ヲ
 三 千ノ 寵 愛 在^リ 一 身^一ニ
 玉 楼 宴 罷^ンデ 醉ウテ 和^ス 春^ニ
 可^レシ 憐^レム 光 彩ノ 生^ニズルヲ 門 戸^一ニ
 不^レ 重^ンゼ 生^ムヲ 男ヲ 重^ンゼ 生^ムヲ 女ヲ

(「白氏文集」による。)

いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひける中に、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり。はじめより我はと思ひあがりたまへる御方々、めざましきものにおとしめそねみたまふ。同じほど、それより下臈の更衣たちはましてやすからず。朝夕の宮仕につけても、人の心のみ動かし、恨みを負ふつもりにやありけん、いとあつしくなりゆき、もの心細げに里がちなるを、いよいよあかずあはれなるものに思ほして、人の譏りをもえ憚らせたまはず、世の例にもなりぬべき御もてなしなり。上達部、上人などもあいななく目を側めつつ、いとまばゆき人の御おぼえなり。唐土にも、かかる事の起こりにこそ、世も乱れあしかりけれど、やうやう、天の下にも、あぢきなう人のもてなやみくさになりて、楊貴妃の例もひき出でつべくなりゆくに、いとほしたなきこと多かれど、かたじけなき御心はへのたぐひなきを頼みにてまじらひたまふ。

父の大納言は亡くなりて、母北の方なむいにしへの人のよしあるにて、親うち具し、さしあたりて世のおぼえはなやかなる御方々にもいたう劣らず、何ごとの儀式をももてなしたまひけれど、とりたててはかばかしき後見しなければ、事ある時は、なほ抛りどころなく心細げなり。

前の世にも御契りや深かりけん、世になくきよなる玉の男御子さへ生まれたまひぬ。いつしかと心もとながらせたまひて、急ぎ参らせて御覧するに、めづらかなる児の御容貌なり。一の皇子は、右大臣の女御の御腹にて、寄せ重く、疑ひなきまうけの君と、世にもてかしづききこゆれど、この御にほひには並びたまふべくもあらざりければ、おほかたのやむごとなき御思ひにて、この君をば、私物に思ほしかしづきたまふこと限りなし。

(「源氏物語」による。)

問一 楊貴妃の例もひき出でつべくなりゆく」とありますが、それはなぜですか。理由を五十文字以内で書きなさい。

問二 A・Bの文章において内容が類似していると考えられる部分がいくつかあります。そのうちの二組をそれぞれ抜き出し、Bの文章の書き手の意図を簡潔に説明しなさい。なお、Aからは白文で抜き出して書きなさい。

問三 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 古典B 2 内容 (1) オ に示された事項を踏まえ、A・Bの文章を用いて授業を行うこととします。どのような指導目標を設定しますか、簡潔に書きなさい。

29 高等学校 国語科 問題用紙

(五枚のうち四)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

人の聞くには掻きも鳴らさず、人知れず教へし月日を数へて待つに、またの年の八月十五夜になりぬ。その年、この君は十四になりたまふ。早朝より雨降り暮らせば、「¹月もあるまじきなめり」と、口惜しうながめ暮らすに、夕さりつかた風うち吹きて、月、ありしよりも空澄みて、明くなりぬ。殿は、今宵内に文つくり御遊びあるに、^a参りたまひぬれば、いと静かなるに、端近く御簾巻き上げて、宵には例の箏の琴を弾きたまひて、人静まり夜更けぬるにぞ、琵琶を、教へのままに、音のあるかぎり出だして弾き^bたまへれば、姫君、「つねに弾きたまふ箏の琴よりも、これこそすぐれて **A**。昔よりとりわき殿の教へたまへど、つねにたどどしくて²え弾きとどめぬものを、あさましき君の御様かな」と、聞きおどろき、うらやみたまふ。例の御殿籠りたるに、ありし同じ人、「教へたてまつりしにも過ぎて、あはれなりつる御琴の音かな。この手どもを聞き知る人は、えしもやならむ」とて、残りの手いま五つを教へて、「あはれ、あたら、人のいたくものを思ひ、心を乱したまふべき宿世のおはするかな」とて、帰^ぬと見たまふに、この手どもを、覚めて、さらにとどこほらず弾かる。あさましう、思ひあまりて、姉君に、「夢に琵琶を教ふる人こそあれ」とばかり^dきこえたまへど、なかなか語りつづけたまはず。

またかへる年の十五夜に、月ながめて、琴、琵琶弾きつつ、格子も上げながら寝入りたまへど、夢にも見えず。うちおどろきたまへれば、月も明けがたになりけり。³あはれに口惜しうおぼえ、琵琶を引き寄せて、

天の原雲のかよひ路とちてけり月の都のひとも問ひ来ず

暁の風に合はせて弾きたまへ。⁴音の、言ふかぎりなくおもしろきを、⁴大臣もおどろかせたまひて、「めづらかに、ゆゆしくかなし」と聞きたまふ。
(「夜の寝覚」による。)

(注) この君 Ⅱ 中の君。 殿 Ⅱ 父の太政大臣。 姫君 Ⅱ 姉君。

ありし同じ人 Ⅱ 去年の今夜天下った同じ天人。

問一 a 参り、 b たまへ、 c きこえ はそれぞれ誰に対する敬意を表していますか。次のア～カの中から選び、その記号を書きなさい。

ア この君 イ 姫君 ウ 殿 エ 帝 オ ありし同じ人 カ 読み手

問二 c ぬ、 e る をそれぞれ文法的に説明しなさい。

問三 **A** にあてはまる動詞「聞こゆ」について、適切な活用形にして書きなさい。

問四 1 月もあるまじきなめり、²え弾きとどめぬものを、⁴大臣もおどろかせたまひて、それぞれ口語訳しなさい。

問五 3 あはれに口惜しうおぼえとありますが、この君はどのようなことに対して、「あはれに口惜し」と思ったのですか。八十字以内で書きなさい。

四 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領

国語 国語総合 2 内容 C 読むこと (1) ウ 「文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。」を踏まえ、評価の観点及び評価規準を三つ定めることとします。それぞれ簡潔に書きなさい。

(五枚のうち五)

受験番号	氏名
------	----

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

〔五〕 次の文章を読んで、問一〜問六に答えなさい。(設問の関係で返り点・送り仮名を一部省略している。)

晏子使^レヒス魯ニ。仲尼、命^ニジテ門弟子ニ往^{キテ}觀シム。子貢反リ、報^{ジテ}曰ク、
 「孰^カ謂^フ晏子ヲ習^{ヘリト}于禮ニ乎。夫禮ニ曰ク、『登^{リテ}階ニ不^レ歴セ、堂上ニ
 不^レ趨^ハラ、授^{ケル}ニ玉ヲ不^レト跪カ。』今晏子ハ皆反^レセリ此ニ。孰^カ謂^フヤト晏子ヲ習^フ于
 禮ニ者上^ト。」晏子既^ニ已^レ有^レリ事^ニ于魯君ニ、退^{キテ}見^ル仲尼ヲ。仲尼曰ク、
 「夫禮ニ、登^{リテ}階ニ不^レ歴セ、堂上ニ不^レ趨^ラ、授^{ケル}ニ玉ヲ不^レ跪カ。夫^ニ反^{スル}ハ
 此ニ禮乎ト。」晏子曰ク、「嬰聞ク、兩楹之間ハ、君臣有^レリ位焉、君行^ニキ
 其ノ一^ヲ、臣行^ク其ノ二^ヲ。君之來^ルコト速^ヤカナリ。是^ヲ以^テ登^{リテ}階ニ歴シ、堂
 上ニ趨^リ、以^テ及^レ位ニ也。君ガ授^{ケル}コト玉ヲ卑^シ、故^ニ跪^{キテ}以^テ下^{レル}之ニ。A 吾
 聞^レク之^ヲ、大ナル者ハ不^レ踰^レエ閑ヲ、小ナル者ハ出^{シテ}入^{シテ}可^也ト。」晏子出^ツ。仲尼
 送^レルニ之^ヲ以^ニテ賓客之禮ヲ、反^{リテ}命^ニジテ門弟子ニ曰ク、「不法之禮ハ、維^ダ
 晏子為^ニスト能^ク行^フト之^ヲ。」

(「晏子春秋」による。)

〔注〕 晏子 春秋時代の人物。晏嬰のこと。

魯 魯国名。

仲尼 孔子のあざな。孔子は魯の人である。

子貢 孔子の弟子。

禮 禮。

歴 一段ごとに兩足をそろえないで、一段ごとに片足をかけて登る。

兩楹之間 堂上の兩柱の間。

閑 閑法。

問一 a 夫、既^b已の本文中における読み方を、送り仮名も含めてそれぞれ現代仮名遣いで書きなさい。
 問二 c 是^ヲ以^テ、可^d也の本文中における意味を、それぞれ書きなさい。
 問三 A にあてはまる最も適切な語を、次のア〜オの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 故 イ 唯 ウ 則 エ 且 オ 未

問四 1 仲尼、命^{ジテ}門弟子ニ往^{キテ}觀シム、夫^ニ反^{スル}ハ此ニ禮乎を、それぞれ口語訳しなさい。

問五 2 孰^カ謂^フ晏子ヲ習^{ヘリト}于禮ニ乎を、書き下し文にしなさい。

問六 4 仲尼送^レルニ之^ヲ以^テ賓客之禮とありますが、仲尼は、なぜこのように行動したのですか。その理由を

六十字以内で書きなさい。

高等学校 国語科 解答用紙

(三枚のうち三)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

[五]						[四]					
問六			問五	問四		問三	問二	問一			
				3	1		c	a	評価の 観点		評価の 観点
									評価規準	評価規準	評価規準
							d	b			